

共用品推進機構だより 2016年12月09日(35)

目次

(160) 共用品推進機構関連記事

▽『おもちゃのまち』の『おもちゃ博物館』／星川安之

▽「ブログを更新しました！」

(161) 製品関連記事

▽「女性も操作しやすい除雪機／和同産業」

(162) その他、各種関連記事

▽「福祉タクシー開発過熱 車いすやベビーカー使いやすく」

(163) 新刊紹介

▽『発達障害のある子の育ちの支援 家族と子どもを支える』

▽『最新図解発達障害の子どもたちをサポートする本
支援のしかたで子どもが変わる』

▽『聞こえているのにわからないAPD〈聴覚情報処理障害〉の理解と支援』

(160) 共用品推進機構関連記事

▼『おもちゃのまち』の『おもちゃ博物館』／星川安之

栃木県には、町立の「壬生町おもちゃ博物館」があります。博物館には約5万点のおもちゃがあり、年齢にかかわらず毎日多くの来館者が訪れています。

11に分かれた「ひろば」があり、「みんなのひろば」には、盲導犬とうさぎマークが大きく表示されています。このマークは、1990年に一般社団法人日本玩具協会が、目や耳に障害のある子ども達にももっと多くのおもちゃで

遊んでもらいたいという願いを込め、共に遊べるおもちゃを「共遊玩具」と名付け、企業の壁を越えて始めた活動の一貫でできたものです。活動を始めた当時のおもちゃからはじまってこれだけ多くの「共遊玩具」を一度に見られるのは、世界でもここしかありません。是非、一度訪れることをお勧めします。

(福祉介護テクノプラス 2016 年月 9 号より抜粋)

▼「ブログを更新しました！」

・千代田区障害者週間のイベントで展示

※Facebook にリンクしています。

共用品ニュース (ブログ) <http://www.kyoyohin-news.org/>

共用品推進機構公式 Facebook <https://www.facebook.com/kyoyohin/>

(161) 製品関連記事

▼「女性も操作しやすい除雪機／和同産業」

操作しやすい自走式ロータリー除雪機「SXC1070」。クボタと共同開発。自社製の除雪機として最軽量モデル。女性や初心者でも使いやすい除雪機を狙った。

電動サイドクラッチを備え、力が最も必要とされる旋回時でも回りたい方向へ簡単に進むことができる。最大投雪距離は 17m、30 分程度で車約 50 台分の駐車場の除雪ができる。

(日経MJ 12 月 7 日 15 面より抜粋)

(162) その他、各種関連記事

▼「福祉タクシー開発過熱 車いすやベビーカー使いやすく」

誰もが使いやすいユニバーサルデザイン(UD)タクシーの開発競争が熱を帯びている。2020 年の東京五輪に向け、公共交通のバリアフリー化を目指す東

京都が16年度にUDタクシーの助成制度を始めたのがきっかけだ。

UDタクシーは車いすやベビーカーの利用者や大きな荷物を抱えた旅行者でも使いやすい車両を目指して国土交通省が12年に規格を定めた。日産では「NV200 タクシー」が12年に全国で初めてUDタクシーに認定され、16年9月にはセレナが2車種目に追加されている。

タクシー向け車両で競合するトヨタ自動車も、乗り降りしやすい大開口スライドドアなどを備えた次世代タクシーを17年度内に発売する計画を表明済み。都は5年間で約60億円の助成金を使い、都内で約1万台のUDタクシーを普及させる計画で、20年ごろには都内を走る約5万台のタクシーの2割がUDタクシーとなる見込みだ。

(日経MJ 12月9日15面より抜粋)

(163) 新刊紹介

▼『発達障害のある子の育ちの支援 家族と子どもを支える』

研究と支援の先端で活躍する著者が、発達障害のとらえ方と支援のポイントを、最新の知見と豊富な事例をもとに解説。家族支援（ペアレント・プログラム）と子どものスキルトレーニングの実際がわかる。

著：辻井正次（つじい・まさつぐ）

発行：中央法規出版

本体価格：1800円（税別）

ISBN：978-4-8058-5409-9

▼『最新図解発達障害の子どもたちをサポートする本 支援のしかたで子どもが変わる』

発達障害の子どもたちをサポートできるよう、発達障害の基礎知識を解説し、家庭、園・学校でできる声かけや接し方のコツ、自信につなげる学習のヒントなどを紹介する。子どもの発達障害に気づくチェックポイント40も掲載。

著：榊原洋一（さかきはら・よういち）

発行：ナツメ社

本体価格：1580円（税別）

ISBN : 978-4-8163-6129-6

▼『きこえているのにわからないAPD〈聴覚情報処理障害〉の理解と支援』

通常の聴覚検査では異常がみとめられないのにも関わらず、日常生活における「ききとり困難」を有する障害、APD。ききとり困難を抱える人たちの症状から、評価、そして支援までを解説する。

編著：小渕千絵（おぶち・ちえ） 原島恒夫（はらしま・つねお）

発行：学苑社

本体価格：2200 円（税別）

ISBN : 978-4-7614-0785-8

（編集後記）

平成 15 年に発足したアクセシブルデザイン推進協議会（ADC）は、異なる業界団体が集まり、アクセシブルデザイン（AD）・福祉用具関連の調査、開発、標準化、普及、国際化等の事業について情報共有を行っている任意の団体で、現在、弊機構は事務局を担当させて頂いております。

弊機構は日頃より、各業界団体様に委員会や調査を通じてご協力を頂いておりますが、年に 1～2 回、AD 活動に特化した AD フォーラムや、年に 1 回、一般の方へも参加を呼び掛けて開催する AD シンポジウムを協賛する等して、情報の共有を図っています。

来年早々に AD シンポジウムを開催いたしますので、また別途ご案内を申し上げます。お忙しい時期ですが是非ご参加ください。（森川美和）

アクセシブルデザイン推進協議会（ADC）：<http://www.ad-council.org/>

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>

共用品推進機構公式 Facebook <https://www.facebook.com/kyoyohin/>